

ファイヤー (キャンプファイヤー) (キャンドルファイヤー)

ファイヤーは、仲間たちと火を囲み、歌ったり、ゲームをしたり、静かに語り合い、友情等を深めることができ、また、普段は目にしない炎を前に、そのダイナミックな躍動感を感じたり、火の偉大さや自分自身等をふりかえることができるプログラムです。

足柄ふれあいの村では、様々なねらいのある中で、野生動物等が多く生息する自然の中で行う活動として、自然への影響を少なくするために、また安全上の理由等から、薪の数や音響、実施する場所に対して制限をしています。特にキャンプファイヤーは、「大きな炎で大規模に」というのがイメージにあると思いますが、少ない薪でも大きな火となり、音響等に頼らなくても楽しむことができると考えています。

また、キャンドルファイヤーは、キャンプファイヤーの雨天プログラムとしてではなく、天候に左右されず、神秘的な雰囲気の中、一体感のある活動を展開することができると考えています。

なお、仲間同士の連帯感や個人の持ち味が十分に発揮できるように、準備作業から後かたづけまでを、できるだけ全員の手で作らあげ、ねらいを持った充実した活動にしていなければならないと考えています。

足柄ふれあいの村のキャンプファイヤー・キャンドルファイヤー

【時 間】 1時間～3時間程度（準備、片づけの時間を含む）

キャンプファイヤーの活動時間は、20:30までとなります。

【場 所】 ○キャンプファイヤー

金太郎広場、杉の子広場、そよかせ広場

○キャンドルファイヤー

プレイルーム、展示ガイダンス室、大会議室、会議・研修室

【持ち物】 □点火の道具（トーチ棒等） □プログラム物品（衣装、スタンツ物品）

□その他（皮手袋、軍手、新聞紙、マッチ等）

【事務室の貸出物品】

□アンプ・マイク □コードリール □ギター □キーボード □ナタ

【注文品】

□灯油（事務室より） □ファイヤー薪（各薪倉庫より広場へ運搬）

□ろうそく（各キャンドルファイヤー台に設置済み）

□手燭（キャンドルに点火させるための、手で持つろうそく。6本まで）

事 前

【場所の調整、注文品の申込み】

- ・事前にファイヤーを行う場所の調整をお願いします。
- ・キャンプファイヤーの場合は薪の数を、キャンドルファイヤーの場合は、ろうそくの注文をお願いします。（食事等申込書記入）

準 備

【職員との打合せ】

- ・実施場所、ファイヤー薪の引き渡し時間、天候判断の確認
- ・活動時間、アンプマイク等の取り扱い

【ファイヤー薪、キャンドルの準備】

- ・薪の引き渡しは、当日の活動によって異なりますが、15:00～16:30までの時間帯に行います。担当者の方は、立ち会いをお願いします。
- ・薪を準備（薪組）するには、当日の天候にもよりますが、天候判断をし、各団体で実施する30分前までに準備をお願いします。なお、薪組の仕方などが不明な場合は、事前に職員へお問い合わせください。
- ・晴雨にかかわらず、強風の場合等、危険が伴うと判断された場合は、活動を変更していただく場合があります。
- ・キャンドルファイヤーで使用する燭台（ろうそくを立てる台）の準備は職員が行いますが、燭台の移動は、実施前に各団体でお願いします。
- ・灯油は開始時刻までの間に事務室へ受け取りに来てください。



実 施

【キャンプファイヤー・キャンドルファイヤーの実施】

- ・点火の際に「火の玉落とし」や花火に手を加えた物等での使用は禁じています。点火は、トーチにてお願いします。
- ・実施時間、気象状況に応じて、活動の変更も考え、他の利用者、近隣の住民に迷惑のかからないようにお願いします。活動時間及びアンプマイクの使用については制限があります。詳しくは、職員にご確認ください。
- ・キャンドルファイヤーで点火する際の手燭の本数は、火傷をしたり、ろうが床にたれてとれなくなるなどから、6本までとしています。

片 づ け

【片づけと返却】

- ・終了後、ファイヤー薪を崩し、残り火をひとまとめにした後、炊事場横に置いてある指定のドラム缶（筒状の物）をかぶせ、一晩くすぶらせておいてください。灯油入れは、その日のうちに事務室へ返却してください。
- ・翌朝、灰と燃えさしを分けて、炊事場横のドラム缶へ捨てて、全体の清掃をお願いします。
- ・キャンドルファイヤーは、終了後床にろうがたれていないか確認し清掃をお願いします。